

## 数学系の系登録選考に関する問題点と改善要求

【ご意見・ご要望】(投稿日:2025 年 3 月 13 日)

数理科学系(以下、数学系)の系登録に関し、今年の選考方法には、手続きの不備、不透明な基準、不合理な振り分けといった点で問題があり、今後の改善を求めます。

### 1. 試験対象者の発表が試験前日だったことの問題

今年の数学系登録では、試験対象者の発表が試験前日に行われました。これは、受験者の準備期間をほぼ奪うものであり、不適切です。さらに、発表時刻すら事前に明示されておらず、最終的に遅い時間になってから公開されました。学生にとって重要な選考にもかかわらず、このような運営が許されているのは理解に苦しみます。来年度以降、少なくとも試験の数日前には対象者を発表し、公開時刻も明確にするよう改善を求めます。

### 2. 選考方法が合理性を欠いている

今年の数学系登録希望者 85 人のうち、

試験免除:59 人

試験実施:3 人

系登録不可:23 人

という振り分けが行われました。このような極端な区分がなされる選抜方法が、果たして適切といえるのでしょうか。

そもそも、成績が基準を満たしていれば、試験によって適性を判断するのが公平な選考のはずです。そもそも、この成績評価自体が公平とは言えず、微積分・線形代数の成績は履修する教員によって異なり、統一試験なしでそのまま系登録の基準とするのは不公正です。今年は必要単位を取得していても、成績が少し低いだけで試験の機会すら与えられず、不合格とされた学生が多数いる一方で、試験対象者はわずか 3 人に絞られています。これでは、系登録試験が適性を測るためのものではなく、形式的な手続きにすぎないことを示しているのではないのでしょうか。

また、定員 60+1 人に対し、試験を受けるのがたった 3 人しかいない以上、この試験は実質的に「3 人のうち 1 人を落とすためのもの」になっています。こうした運用が、学問的な適性を測るための公正な試験だとは思えません。

### 3. B1 の履修方針による影響と、制度理念との矛盾

今回の系登録結果を見ると、1年次に高度な科目へ挑戦するよりも、標準的な微積分や線形代数を履修し、高得点を取ることが有利に働いている可能性があります。しかし、これは「一年次から高学年科目を履修できる」「柔軟なカリキュラムで学ぶことができる」という理学部の理念と矛盾するのではないのでしょうか。

学科として履修の自由を認める方針を掲げながら、実際には「背伸びせずに1年次は基本科目を履修しておく方が有利」という実態があるのであれば、それは明確に公表されるべきです。

#### 4. 運営上の都合による選考の恣意性

今年の系登録選考では、スケジュールが圧迫されていたため、試験を行う手間を減らすために、例年であれば試験を受けられるはずの学生を門前払いしたのではないかという疑念が拭えません。

本来、系登録試験は「一定の基準に達しなかった学生に対し、適性を判断する機会を与える」もののはずです。しかし、今年のように極端に試験対象者を減らすことで、「試験を通して判断する」という制度そのものが形骸化しています。

#### 5. 要望

これらの問題に対し、来年度以降どのように改善するのか、具体的な方針を示していただきたく存じます。

以上、どうぞよろしくお願いいたします。

【回答】(回答日:2025年4月17日)

(回答部署:理学部教務掛)

数理科学系の系登録の選抜は『「試験のみを通して判断する」という制度』ではございません。その点を最初に申し上げた上で、各項目毎に回答を記載します。

#### 『1. 試験対象者の発表が試験前日だったことの問題』

試験前日に試験対象者を発表することはガイダンスなどで案内しております。日程的に余裕がないので、昨年以前も同様の運用をしておりましたし、来年度以降も同様の日程で行う可能性が高いと思います。試験対象者の公開時刻は早めにアナウンスしたいと思います。

#### 『2. 選考方法が合理性を欠いている』

系登録の選考は教科の手引きの記載内容および系登録ガイダンスでアナウンスした内容に沿って行われております。教科の手引きには、数理科学系では系登録の選考に際して、

「(1)専門科目と専門基礎科目の数学科目の履修状況及びその成績を参考にする。必要に応じて、それ以外の単位の修得状況を参考にし、一部の者に試験を課すこともある。

(2)上記で決定できない場合は、若干名に対しては面接を行い、決定する。」

としており、今回の選考はこの記載に沿った選考となっております。成績表を精査し、数学系への適性が高いと認められる者のうち、上位から定員の範囲内の順位の者を受け入れることにしております。今年度は成績表だけでは判断がどうしてもできない人に限って試験を行うことにしました。

#### 『3. B1 の履修方針による影響と、制度理念との矛盾』

成績表の精査は、学部1, 2回生向け科目だけでなく、3回生以上の科目を含めて総合的に行っています。そのため、理学部の理念に沿った選考となっています。

#### 『4. 運営上の都合による選考の恣意性』

上に述べたように、数理科学系では、教科の手引きに記載の(1)(2)に沿って、系登録の選考を行っています。『本来、系登録試験は「一定の基準に達しなかった学生に対し、適性を判断する機会を与える」もののはずです。』ではありません。

#### 『5. 要望』

理学部としては現在の系登録の状況に改善すべき点があることは認識しており、学生が不利益を被らないように日々改善の努力はしておりますが、意見箱への投書の回答として具体的な方針を書くことは適切でないと考えております。